

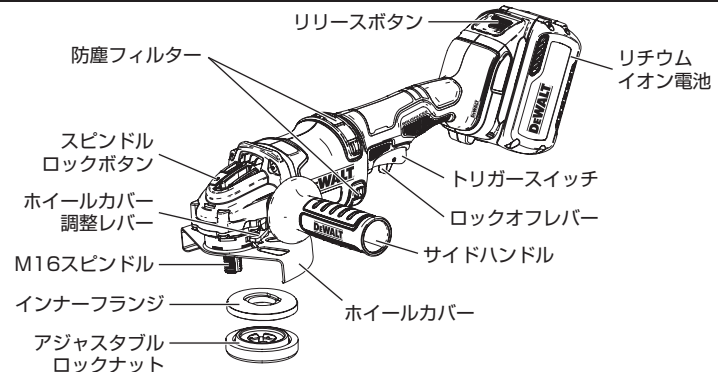


デウォルト電動工具 取扱説明書

DCG414X1 54V 125mmブラシレス ディスクグラインダ DCG414N (本体のみ)

* DCG414N (本体のみ) の製品には、充電器、充電電池は付属していません。

製品の各部名称と仕様



こだわりのデウォルト... 強靱な作業場を提供します。
デウォルトブランドの高品質・耐久性は現在、世界各国で圧倒的な支持を獲得しています。デウォルト電動工具は1923年アメリカ合衆国、レイモンド・デウォルトによって最初の卓上スライド丸ノコが開発されました。以来、石工、木工、金工用工具を問わず多数の工具を提供し、その耐久性はあらゆる作業場の要望にお応えし、満足していただいています。すべての工具はハイテクを駆使した弊社製造技術のもとに作られ、また出荷前の品質管理には万全を期しています。強靱な耐久性、作業の確実性、ハイパワーを作業場でお楽しみください。

仕様

品番	DCG414	バッテリー品番	54V/18V
電圧 (V)	DC54V	DCB547	リチウム充電電池
最大出力	1,700W	電圧	54V/18V
回転数 (回/分)	9,000min ⁻¹	充電電池	リチウムイオン
ディスクサイズ(外径×厚み×内径)	125×6×22mm	電池容量	3.0Ah (54V) / 9.0Ah (18V)
スピンドルサイズ	M16	バッテリー質量	約1.2kg
スピンドル長	21.45mm	充電器	入力: AC100V
質量(電池、サイドハンドル含まず)	2.14kg		50/60Hz
振動係数 グライディング	5.9m/s ²		出力: 8A
振動係数 サンディング	2.9m/s ²		

振動係数はEN60745に示されているテスト方法に準じて行っております。

目次

製品の各部名称と仕様	1
安全上のご注意	2
警告（電動工具を安全にお使いいただくために）	2
注意（電動工具を安全にお使いいただくために）	3
警告（グラインダに関する安全上の追加事項）	3
注意（グラインダに関する安全上の追加事項）	5
警告（充電電池と充電器に関する安全上の事項）	5
注意（FLEXVOLTリチウムイオン電池の移送に関する安全上の事項）	6
警告（リチウムイオン電池一般に関する安全上の事項）	7
充電の手順	7
製品の特色と使用方法	8
メンテナンス	14
アフターサービスについて	14
充電電池と環境	14
アクセサリ	14

安全上のご注意



警告

正しく安全にお使いいただく為に、ご使用前に必ずこの取扱説明書にある指示事項を全てお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

電動工具をお取扱いの際には、火災や感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「障害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。



このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。



警告 電動工具を安全にお使いいただくために。

この取扱説明書を大切に保管し、必要な時に備えてください。

◆作業場の環境について

- 明るく清潔で、乾いた場所で作業してください。散らかった作業場や作業台での作業は事故の原因になります。また、雨中や湿った場所など本体内部に水の入りやすいところでは使用しないでください。湿気はモーターなどの電気絶縁を低下させ、感電事故につながります。
- 危険物のまわりでは決して作業しないでください。引火性の液体やガスのある場所の近くで使用しないでください。
- お子様を近づけないでください。お子様や外部の方、訪問者が電動工具に触れないようにしてください。作業場所は作業者以外、立入禁止にしてください。

◆個人的な警告事項

- 不用意なスイッチ・オンは決してしないでください。充電電池を本体に差し込む前に必ずスイッチ・オフの状態であることを確認してください。持ち運ぶ間はスイッチに手を触れないようにしましょう。スイッチが入ると不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。
- 保護メガネや他の保護器具を必ず使用してください。飛散する切り粉から目を守るために保護メガネを必ず着用してください。ホコリが大量に出る作業では健康のためにも防じんマスクを併用してください。作業環境によっては耳栓、ヘルメット、手袋、安全靴の使用も必要です。

◆工具の使用と手入れ

- 加工材はしっかりと固定して作業してください。クランプや万力などで加工材を固定してください。手で保持するよりも安全ですし、両手で電動工具を使用することは安全につながります。
- スイッチが入らない、あるいは切れない場合は、ご使用を直ちに中止してください。スイッチの故障した電動工具は、不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。所定のサービスセンターで修理してください。
- 電動工具の調節や刃物、ビット類の交換の際には、必ず充電電池を本体から外してください。また、必ずスイッチがオフであることも確認してください。こうした確認は不意に電動工具が作動して引き起こす事故を防止します。
- 指定の付属品、アタッチメントを使用してください。デフォルト製工具への使用を推奨していない付属品やアタッチメントの使用は危険をとまなうことがあります。

注意 電動工具を安全にお使いいただくために。

◆電気に関する安全事項

- 電源コードを乱暴に扱わないでください。コードの部分を持って工具をぶら下げて持ち運んだり、コンセントから外す際にコードを引っばったりしないでください。感電やショート等の原因となるので、コードを熱いものや油、薬品類に接触させたり、鋭利なものでキズをつけないように注意してください。万一、誤ってキズをつけた場合はその箇所を手を触れず、直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。キズついたコードは火災を引き起こす危険性があります。

◆個人的な注意事項

- 常に注意して作業を行なってください。電動工具を使用する際、取扱方法、作業の手順、周囲の状況などに十分注意し作業に集中してください。疲労時や飲酒、薬の服用時などには決して使用しないでください。使用時の集中力の欠如は重大な事故を引き起こす原因となります。
- 作業に適した服装で作業を行なってください。そで口の開いた服装や宝石類を身に付けないでください。電動工具の駆動部分に巻き込まれる恐れがあります。屋外で作業をする際には、滑り止めのついた履き物を着用することをお勧めします。長髪の方は作業の邪魔にならないようにしてください。
- 調整用キー、レンチ等は、使用時以外は必ず取り外してください。スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が全て取り外されているかどうか、常に確認する習慣をつけてください。
- 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足場を安定させ、バランスを保つようにしてください。無理な姿勢は、思わぬ事故を引き起こす原因となります。
- 電動工具に無理な力をかけないでください。電動工具は、機械本来の用途や負荷状態の限度内でご使用いただくのが基本です。また、所定の速度で使用することによって、仕上がりの良い安全な作業ができます。決してモーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- 使用していない電動工具はお子様や初心者の方の手が届かない乾燥したところに保管してください。電動工具はお子様や初心者の方には大変危険なものです。使用していない時は本体と充電電池を別々に保管することも心がけてください。
- ◆工具の使用と手入れ
 - 作業にあった電動工具を使用してください。小型の電動工具やアタッチメントを大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。けがの恐れがあります。
 - 指定された用途以外には使用しないでください。けがの恐れがあります。

注意 電動工具を安全にお使いいただくために。

- 損傷部品を点検してください。引き続き使用する前に、安全カバーやその他の部品に損傷がないか点検してください。また正しく動作するか、所定の機能が発揮されるかどうかを確認してください。可動部分の位置ずれや引っかかり、部品の破損、取り付け状態、その他に異常がないか点検してください。損傷した不良部品は、所定のサービスセンターで修理または交換してください。
- 電動工具と刃物類は、こまめに手入れをしてください。安全で効率の良い作業をしていただくために、刃物類はよく手入れをし、シャープな状態を保ってください。電動工具は常に手入れのゆきとどいた状態で使用してください。

◆修理／メンテナンス

- 電動工具の修理は有資格技術者のみが行えます。修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターの有資格者が行わなければなりません。
- 純正部品のみを使用してください。十分な能力を発揮するために、修理メンテナンス、調整は、純正部品のみを使用して行なわなければなりません。

警告 グライндаに関する安全上の追加事項。

- この製品はグライнда、サンダ、ワイヤブラシ、または切断作業用工具として機能するように作られています。取扱説明書をよくお読みの上、お使いください。感電、火災、けがの原因になります。
- 作業前に本体を無負荷で動かし、異常な振動や揺れがないか確認する。先端工具の取り付け不備や先端工具のバランスが大きく崩れる可能性があります。けがの原因になります。
- 作業前に加工材が適切に保持されていることを確認する。けがの原因になります。
- 本体の風窓は定期的に掃除をする。粉じんなどが溜まると故障の原因になります。
- つや出しなどの作業をしない。けがの原因になります。
- 取扱説明書で推奨している先端工具以外は使用しない。事故やけがの原因になります。
- 電動工具の銘板に表示されている回転数よりも高い許容回転数の先端工具を使用する。許容回転数が銘板表示より低い先端工具を使用すると、先端工具が破壊し、事故やけがの原因になります。
- 先端工具の取付方法、使用方法については、電動工具および先端工具付属の取扱説明書の指示に従う。けがの原因になります。

警告 グラインダに関する安全上の追加事項。

- 先端工具は、取扱説明書で推奨している外径および厚さのものを使用する。能力外の先端工具を使用すると事故やけがの原因になります。
- スピンドルに確実に取り付けができる先端工具を使用する。合わない先端工具を使用すると事故やけがの原因になります。
- 先端工具にヒビ、割れがないことを使用前に確認する。先端工具が破壊する恐れがあり、けがの原因になります。
- 誤って落としたり、ぶつけたときは、先端工具や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- 安全保護具を着用する。作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、作業に応じて、発生する粉じんを遮断できる防じんマスク、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓（イヤマフ）、手袋防炎面などを着用してください。粉じんや騒音に長時間さらされると健康を害する可能性があります。
- 周囲の人を作業領域に近づけない。作業領域に近づく場合は、安全保護具を着用する。加工材または破損した先端工具の破片が飛散し、事故やけがの原因になります。
- 軍手などの布製の手袋は使用しない。手袋は耐火性のある革製の物を使用してください。
- 作業前に、電気配線や水道管、ガス管などの埋設物がないことを確認する。内部の配線を切断する可能性があるため、切断作業の時は特に注意する。また、絶縁されたハンドルだけを握ってください。埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- 先端工具が完全に停止してから、本体を台や床に置く。先端工具が引っかかり、事故の原因になります。
- 運転をしている間は、先端工具を身体に近づけない。先端工具が衣服に引っかかり、身体に触れたりする事で、けがや事故の原因になります。
- 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷つきやすいものは安全な場所に遠ざける。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。火災ややけどの原因になります。
- 水、研削液などは使用しない。本機は乾式用のため、けがや感電の恐れがあります。

警告 グラインダに関する安全上の追加事項。

- 使用中に先端工具が加工材にはさまったり、引っかかりたりしたときには、キックバックという突然の反動を受けることがあります。事故やけがの原因になりますので、次の点に注意してください。
 - ・ 使用中は、反動や衝撃等が生じることがありますので、本体を手離さないようしっかり保持してください。特に始動時は気をつけてください。
 - ・ 手を先端工具の近くに置かないでください。
 - ・ キックバックが発生したときに備えて本体の作業方向の延長線上に身体を置かないでください。
 - ・ コーナーや鋭いエッジなどを加工するときは特に注意してください。
 - ・ 指定された先端工具以外での切断作業はしないでください。
- ホイルカバーを取り付けて使用する。ホイルカバーを取り付けずに使用すると、破損した先端工具の破片および先端工具との不測の接触によりけがの原因になります。
- 本体を万力などで保持するような使い方をしない。けがの原因になります。
- 使用中は、先端工具や切り屑などに手や顔などを近づけない。
- 使用中、電動工具の調子が悪かったり、異常音が生じたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社サービスセンターに点検、修理を依頼する。そのまま使用していると、事故やけがの原因になります。
- [事業者の方へ] 先端工具の交換・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けたい人に行わせてください。
 - ・ 関連法令 労働安全衛生規則 第36条、労働安全衛生法 第59条
 - ・ 安全衛生特別教育規程 第1条、第2条
- カップ砥石は使用しない。けがや事故の原因になります。
- スピンドル、フランジは傷つけないように取り扱う。先端工具破損の原因となります。
- 作業は先端工具の指定された面で行う。指定以外の面で行うとけがの原因となります。
- スwitchをオンした状態のまま、電動工具から離れない。作業中はしっかり手で本機を保持してください。けがの原因になります。
- 作業直後の加工材を触らない。加工材が熱くなっており、やけどやけがの原因となります。
- 他用途の先端工具（丸のこ刃、チップソーなど）は使用しない。
- 取扱説明書で推奨している先端工具、およびホイルカバーを使用する。推奨外の先端工具やホイルカバーを使用すると事故やけがの原因になります。

警告 グラインダに関する安全上の追加事項。

- ホイールカバーは、作業者の方向に露出する先端工具を最小限にする位置に確実に取り付けて使用する。先端工具との不測の接触や破損した砥石から作業者を保護します。
- 研削砥石や切断砥石を使用する際、研削火花を吸じんしない。
- 砥石は正しい使用面で使用する。切断砥石の側面や上面では切断しないでください。切断砥石以外の砥石での切断はしないでください。砥石が破損して事故やけがの原因になります。
- 切断砥石を用いて切断作業をする場合は、切断砥石に対応する適正なホイールカバー、およびフランジを取り付けて使用する。
- 消耗した砥石は使用しない。回転速度の違いから破裂するなど事故の原因になります。
- 切断作業中に先端工具をかみ込ませたり、過剰な力で押しつけたりしない。モータに無理がかかるばかりでなくキックバックや砥石の破壊による事故やけがの原因になります。
- 切断作業中は回転中の先端工具の切断線の上に身体を配置しない。けがの原因になります。
- 切断作業中に先端工具が拘束されたときは、電動工具のスイッチを切り、先端工具が完全に停止してから切断部から離し、原因を除去する。拘束されたまま再開すると、けがの恐れがあります。
- 切断作業を中断したときは、切断部に切込んだまま再始動しない。本体のスイッチを切り、先端工具が完全に停止してから切断部から離して再始動してください。先端工具が最高速度に到達してから注意しながら切断部へ切込んでください。切込んだまま再開すると、けがの恐れがあります。
- 加工材は確実に固定する。
- ジグザグに切断したり、本体をこじったりしない。
- 市販のラバーパッドを使用する時は、ラバーパッドに合ったサンディングディスクを使用する。大きすぎるサンディングディスクはディスクの破損やけがの恐れがあります。
- 市販のワイヤブラシを使用する時は、ワイヤブラシに過剰な力を加えない。ブラシに過剰な負荷をかけることでワイヤがより抜け易くなる恐れがありますので注意してください。けがの恐れがあります。

警告 グラインダに関する安全上の追加事項。

- ホイールカバーを使用して市販のワイヤブラシを使用する時は、ホイールカバーとワイヤブラシが接触しないことを確認する。

電動工具のラベルには、下記のマークが含まれることがあります。

V	電圧
—	直流
□	二重絶縁
⚠	注意
no	無負荷状態でのスピード
○○○min ⁻¹	1分毎の回転数
○○○bpm	1分毎の打撃数

注意 グラインダに関する安全上の追加事項。

- 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。
- 電源コードに回転中の先端工具を近づけない。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認する。また、コードを引っ張られたり、引っかけたりしないようにしてください。
- 試運転を行う。
試運転時間
・砥石交換のとき……3分間以上
・作業開始のとき……1分間以上
- 新しい砥石を取り付け、初めてスイッチを入れるときは、回転面から一時身体を避ける。

警告 充電電池と充電器に関する安全上の事項。

- ◆ 下記の注意事項を全てお読みください。
- 充電器の定格電圧が電源と一致していることを確認する。充電器の電圧は定格板に記載されています。
- 充電器は屋内のみで使用する。また、充電器を濡れた場所や、ちらかった場所では使用しないでください。特に水まわりの近くでの使用や、水の中に浸けたりしないでください。

警告 充電電池と充電器に関する安全上の事項。

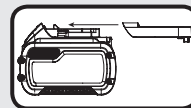
- 充電器のコードやプラグ部分に損傷がある場合、使用せず新しいものと交換してください。
※交換作業は、製造者もしくはその代理店又は同等の有資格者が行います。
- 充電器が衝撃、落下、その他何らかの原因で損傷した場合には使用せず、所定のサービスセンターにお持ち込みください。
- 導電体の物を充電器の充電端子に接触させないよう十分注意してください。充電器の充電端子には高電圧がかかっており、感電および感電死の恐れがあります。
- 充電電池の表面にひび割れや損傷がみられる場合は、絶対に使用しないでください。充電器に破損した充電電池を差し込むと、感電および感電死の恐れがあります。
- 電源コードを乱暴に扱わないでください。コンセントから電源プラグをはずすときは、コードを引っ張らないでください。電源コードの位置に気をくばってください。コードを踏みつけたり、つまずいたりすると危険ですし、コードをキズつけることとなります。
- 充電器の上にものを絶対に置かないでください。柔らかいもの（例：綿、スポンジ等の材質）の上に充電器を置かないでください。充電器の上部と底部に通気するための穴が切ってあります。穴をふさぐと、熱が充電器内にこもり、大変危険です。充電器は熱のあるところをさけてご使用ください。
- 充電器の分解はしないでください。修理／メンテナンスは、所定のサービスセンターに依頼してください。発火したり、異常動作してケガをする恐れがあります。
- 充電器を掃除する際、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。これは感電を防止するために必要な事項です。充電電池を充電器から抜くだけでは、感電の防止にはなりません。
- 充電電池の分解はしないでください。充電電池本体にひびや傷へこみを発見した場合、再充電することなくすぐにご使用をおやめください。
- 周囲温度が4℃以上、及び40℃以下の環境下で充電電池の充電を行ってください。また、温度が40度を超える場所に保管しないでください。これは充電電池に重大な損傷をあたえるのを防止するために必要な事項です。
- 充電電池がひどく損傷していたり完全に消耗していても、焼却しないでください。充電電池が火の中で爆発する恐れがあります。過度な使用や極端な温度状況のもとでは、わずかな量の液もれが充電電池から発生することがあります。もし外部シールが破れて漏れ出した液体が皮膚に触れた場合は、すぐに水で洗い流し、最寄りの医療機関にご相談ください。



警告 充電電池と充電器に関する安全上の事項。

- 充電電池の端子間を絶対にショートさせないでください。ネジ、刃物、くぎなどの金属が充電電池の充電用金属端子に接触してショートすることのないように注意してください。
- 充電電池の充電は専用の充電器のみで行なってください。誤った使用法は感電を引き起こしたり、充電電池を加熱させたり、液漏れなどを引き起こす原因となります。取扱説明書に記載してある充電器でのみ、充電電池を充電してください。
- 専用の充電電池でのみ本製品をご利用ください。他社製の充電電池での本製品のご使用は、火災を引き起こす危険性があります。取扱説明書に記載している充電電池でのみ、本製品をご使用ください。
- 充電中でないときは、プラグをコンセントから必ずはずしておいてください。
- 延長コードについて使用しないでください。
- 「充電上の注意事項」を必ずよくお読みください。

注意 FLEXVOLT リチウムイオン電池の移送に関する安全上の事項。

- FLEXVOLTは18V製品で使用時は18V充電電池として、54V製品で使用時は54V充電電池として使用できます。
- 充電電池にバッテリーキャップを取り付けることにより、移送モードになります。輸送業者等に発送、移送を依頼する際は、必ず付属のバッテリーキャップを充電電池に取り付けてください。
- 保管の際も常にバッテリーキャップを取り付けて保管ください。
- 正しく充電電池にバッテリーキャップを取り付けると、内部の電池が3分割されます。これにより従来162Whの電力量が54Wh×3セットになりエネルギー量を細分化できます。この構造により、貨物の移送・発送時における制限から除外され、安全に手配が可能になります。
- バッテリーキャップを取り付けずに発送・移送は行わないでください。



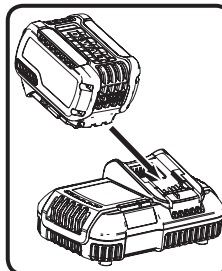
 使用中: 162Wh
 移送モード: 3×54Wh

警告 リチウムイオン電池一般に関する安全上の事項。

- 輸送会社にリチウム電池を含む電池であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。
- 電力量が100Whを超えるリチウムイオン電池の場合、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送国の規制に従う必要があります。







充電の手順

◆充電のしかた



- (1) 充電器の銘板に表示してある電源と、コンセントの電源が一致していることを確認のうえ、家庭用電源のコンセントに充電器の電源プラグを差込んでください。
- (2) 充電電池を充電器の差込み口に差込んでください。充電電池がしっかりと差込み口にはまっているか確認してください。充電器が充電を始めると、赤い点滅灯が点滅しはじめます。これは、「充電中」を意味します。
- (3) 充電が完了すると、点滅灯が光ったままになります。これは「充電完了」を意味します。充電終了後、充電器に充電電池を放置したままにしても問題はありません。
- (4) 電池を取り外すには、リチウム電池のリリースボタンを押しながら、充電器から引き抜いてください。

インジケータ表示 (DCB118)

 充電中	— — — —	
 充電完了	—————	
 高温・低温待機機*	— — — — — —	

◆充電がうまく行われないときは

- (1) 電源コンセントに電灯などの他の電気機器を接続して、確かに電流が来ているかを調べる。
- (2) 電源コンセントが、壁の電源スイッチと連動しているか確認する。

(3) 周囲温度が+4℃以上、および+40℃以下の環境下で充電を行なったか確かめる。

(4) それでも充電されないときには、お買い上げの販売店にお買い上げ時のレシートなどと一緒に持参のうえご相談ください。

△充電上の注意事項

- 充電中、充電器と充電電池は触れると暖かく感じるようになります。これは正常な状態であって、問題はありません。
- 充電電池を充電していないとき、充電器のプラグは電源コンセントからはずしておいてください。スチール・ワール（鉄綿）、アルミホイル、その他の金属切り粉等により、充電器の充電端子が短絡する危険性があります。また、これらの材質からはなれた場所で充電器を使用することを心がけてください。充電器のプラグは電源コンセントからはずした状態で、これら異物を取り払ってください。
- どんな液体も充電器内に入らないように気をつけてください。感電を引き起こす可能性があります。充電電池の冷却を容易にするため、ご使用の後、充電器と充電電池は高温になる場所で保管しないでください。
- 充電器は、お客様がご自身で修理することはできません。ご自身で充電器を開けられると静電気が発生し内部部品が故障する可能性があります。かならず所定のサービスセンターの有資格者に修理／メンテナンスを依頼してください。

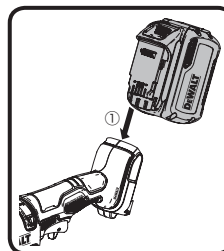
※高温・低温時待機機能

充電に適した温度に達するまで待機、または充電速度を下げる機能です。充電電池の温度が高すぎる、あるいは低すぎる場合に作動し、適正な温度に達したら充電を開始します。動作中は赤いインジケータが点滅、黄色いインジケータが点灯します。適正な温度に達したら、黄色いインジケータが消灯し、通常の充電をおこないます。（充電電池の温度が低過ぎる場合、通常の充電の約半分速度で充電を行います。充電電池が適正な温度に達した場合においても、通常の充電速度に戻りません。）

製品の特徴と使用方法

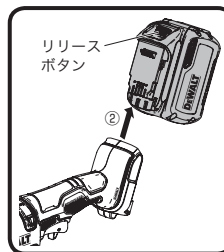
△デウォルト製充電電池は充電されていない状態で出荷されます。最初にご使用のときは、ご使用前に必ず充電を十分にしてください。

◆電池の取り付け方／取り外し方



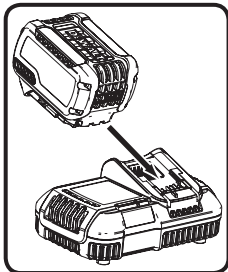
充電電池を本機に取り付けるとき、充電電池の向きが工具ハンドル部分下にある挿入口と合っていることを確認し、「カチン」としっかりはまるまで電池を矢印①の方向に差し込んでください。

△充電電池が十分充電されていることを確認してから本品をお使いください。





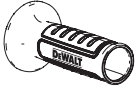

充電電池を工具から取り外すとき、充電電池の前面にあるリリースボタンを押したまま、充電電池を矢印②の方向に引きますと工具から外れます。

◆再充電



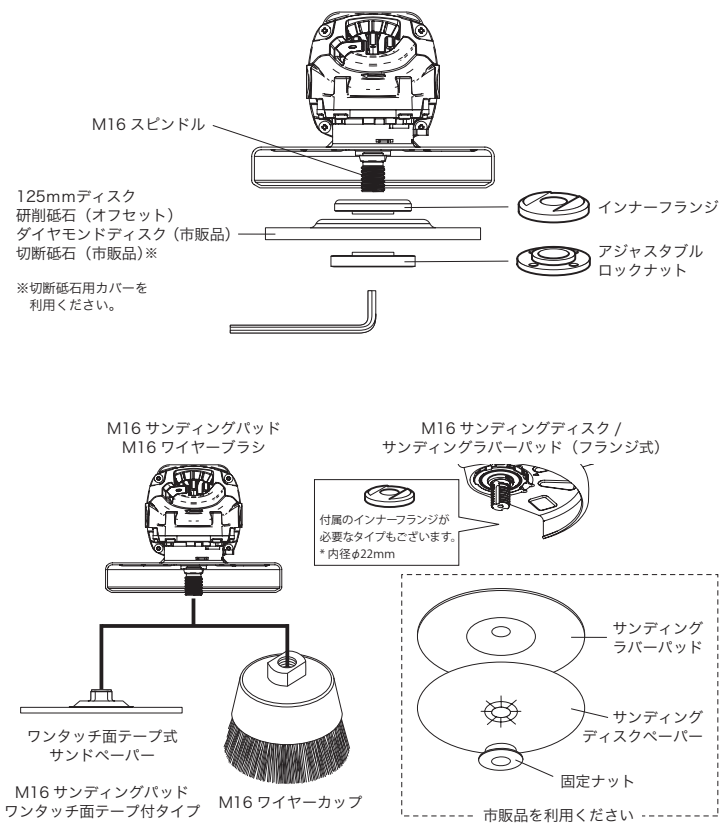
いつものような仕事をさせたときに工具が力強く作動しない場合は絶対に使用せず、再充電してください。以前に少しでも使用した充電電池も、ご使用の前に再充電することを心がけてください。

△充電電池を充電する際、「P7充電の手順」の項に従って充電してください。

部品名	入数	部品名	入数
六角レンチ 	1	インナーフランジ/ アジャスタブルロック ナット 	各1
サイドハンドル 	1		
ホイールカバー 	1		

◆先端工具取り付けガイド

※イラストの形状や詳細は、実物とは異なる場合があります。

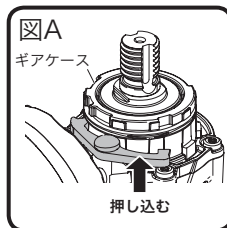


◆ホイールカバーの取り付け・取り外し



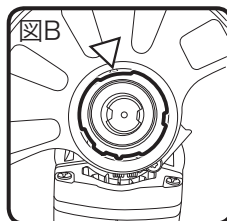
警告

- ・ホイールカバーの取り付け・取り外しの際は、必ずリチウムイオン電池を取り外した状態で行ってください。事故の原因になります。
- ・ホイールカバーは、必ず取り付けて使用してください。先端工具が破壊したとき、けがの原因になります。

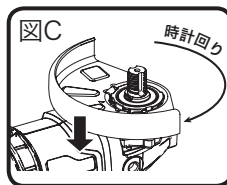


取り付け

- (1) 初めに、インナーフランジとアジャスタブルロックナットを取り外します。



- (2) ホイールカバー調節レバー（図A参照）を押しながら、ギアケースの大きな凹に、ホイールカバーの▽を合わせて（図B参照）はめ込み、時計回りに回して組み付けてください。



- (3) ホイールカバーの向き調整は、ホイールカバー調節レバーを押しこんだ状態（図A参照）でホイールカバーを時計回りに回転させて調整します。回転の際は、ホイールカバーを若干、ギアケース方向（↓）の方向に押しつけながら行ってください。

取り外し

ホイールカバー調節レバーを押しこんだ状態でホイールカバーを回転させ、図B▽の位置に合わせて、取り外せます。

◆ホイールカバー回転オプション



注意 調整前に必ずバッテリーを取り外してから調整を行ってください。

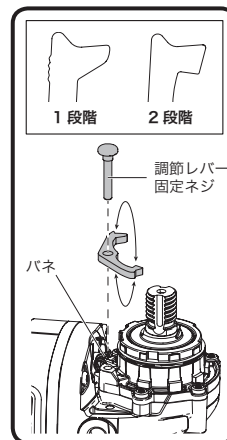
作業の快適性を向上させるため、ホイールカバー調節レバーの向きを付け替えることにより二通りの方法でホイールカバーの向き調整を行うことができます。

オプション1. -2段階調整

（出荷時はこの状態。操作方法はホイールカバー取り付け・取り外し参照）

ホイールカバー調節レバーを押しながら、図Cのようにホイールカバーを時計回りに回転することでガードの向きを調整できます。ホイールカバーがロックされているため、作業中ホイールの不意な回転等を防げます。

オプション2. -1段階調整（左の図のようにホイール調整レバーを設置）



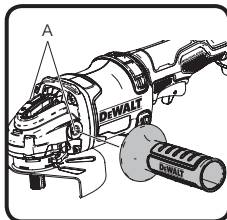
ホイールカバー調節レバーに触れなくても、図Cのようにホイールカバーを時計回りに回転させて、向きを調節できます。

変更は以下の手順で行います。

- (1) 調節レバー固定ネジを20番トルクスビットで取り外します。
- (2) レバーの向きを180度回転させ、バネとギアケースの間に設置します。ネジを締めなおす際、バネがしっかりホイールカバー調節レバーに接触しているのを確認ください。

◆サイドハンドルの取り付け

⚠ 警告 サイドハンドルの取り付け、取り外しの際は、必ずリチウムイオン電池を取り外して行ってください。

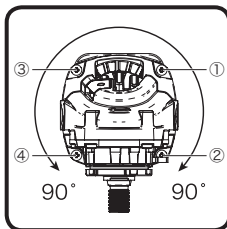


サイドハンドルは本体左右2箇所に取り付けが可能です。取り付け穴にサイドハンドルを差し込み、時計回りに回し、固定してください。

作業にあった位置にしっかりと取り付けてご使用ください。

◆ギアケース向き調整

⚠ 注意 調整前に必ずバッテリーを取り外してから調整を行ってください。



作業の快適性を向上させるため、作業に合わせて左右90度ギアケースを回転させることができます。

(1) 左図の①～④のネジを外します。ネジサイズは#15トルクスになります。

(2) ギアケースを左右いずれかの方向に90度回転させます。その際、ギアケースを強く引っ張ったりしないよう、ネジを外したそのままの位置で回転させてください。

(3) 左図の①～④のネジを締め固定させます。



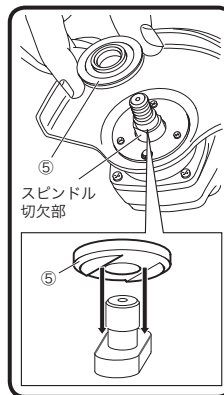
調整後ネジを固定する際、ギアケースと本体部分の間に3mm以上隙間があいてしまった場合は、デフォルトサービスセンターに組付けを依頼ください。

ネジの締め付けは、2.25N・m程度の力で行ってください。強すぎる力で、締め付けを行うとネジ山を痛める場合があります。

◆先端工具の取り付け・取り外し

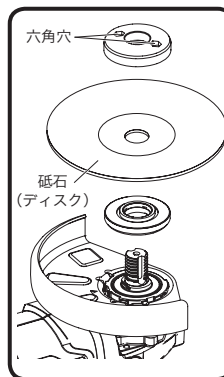


・付属品、市販品などの先端工具の取り付け、取り外しの際は、必ずスイッチを切り、リチウムイオン電池を取り外してください。不意な始動によるけがの原因になります。
・先端工具にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。先端工具が破壊し、けがの原因になります。



取り付け

(1) 左図のようにスピンドルを上に向け、最初にインナーフランジをスピンドル切欠部に合わせて取り付けます。

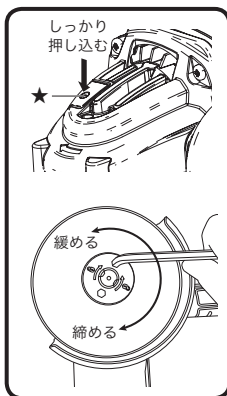


(2) 取り付ける先端工具（研削砥石）の印刷のある表面を工具本体側に向け、挿し込みます。
(3) アジャスタブルロックナットを取り付けます。ネジの切り欠き溝に、ロックナットの中心の穴の凸部を合わせてねじ込みます。

本ロックナットは、オフセット、切断砥石、ダイヤモンドディスク等、厚みの異なる先端工具を同じ向きで組みつけができるため、いつも六角穴面が左図のように上向きになった状態で組みつけます。



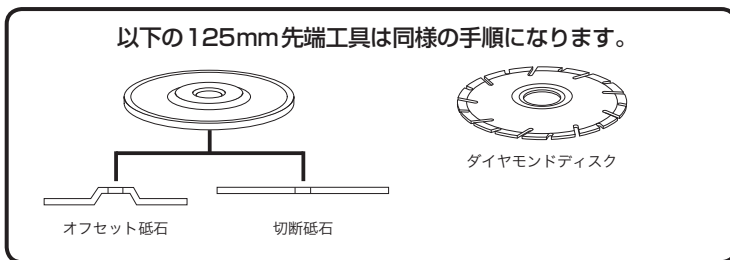
外径125mmサイズの先端工具を使用してください。



- (4) ギアケースにあるスピンドルロックボタン(★)を押しこみ保持した状態で、付属の六角レンチをアジャスタブルロックナットの2箇所いずれかの六角穴に差し込み時計回り(⌚)に締めつけて固定します。

取り外し

取り外しの際は、取り付けの逆の手順で行ってください。



◆ダイヤモンドブレード・ダイヤモンドホイール(市販品)の用途

用途：レンガ、ブロック、コンクリート、モルタル、瓦、石材などの溝入れ、切断、研磨に。



警告

- ・ダイヤモンドブレードを使用する際は、必ずホイールカバーを取り付けてください。
- ・ダイヤモンドブレードは、回転方向と本体ギアケースの矢印の方向を合わせて取り付けてください。

◆125mm切断砥石(市販品)、切断砥石用ホイールカバー(別売品)の用途

用途：金属(鉄、ステンレスなど)の切断に



警告

- ・切断砥石を使用するときは、切断砥石専用のホイールカバー(別売品)に付替えて使用してください。
- ・切断砥石の場合は、ロックナットの向きが研削砥石とは異なりますのでご注意ください。

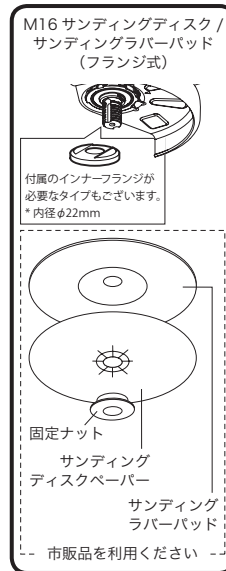
◆サンディンググラバーパッド・サンディングディスク(市販品)の取り付け・取り外し

用途：仕上げ、塗装面の下地磨き、サビ取り、塗装はがしに。



警告

- ・サンディングディスクの使用には、市販のM16サンディンググラバーパッド(固定ナット付)とサンディングディスクが必要です。
- ・取り付けの際は、市販のサンディンググラバーパッドの取扱説明書の指示に従ってください。



取り付け

- (1) アジャスタブルロックナット、インナーフランジを取り外します。内径22mmのサンディンググラバーパッドを使用する場合は、付属のインナーフランジが必要になる場合もあります。
- (2) 市販のM16サンディンググラバーパッドを取り付け、ラバーパッドにサンディングディスクを取り付けます。
- (3) サンディングディスクの上から固定ナットを取り付け、スピンドルロックボタン(★)を押さながら固定ナットをしっかりと締めつけてください。詳細は、市販のサンディンググラバーパッド、サンディングディスクの取扱説明書に従ってください。

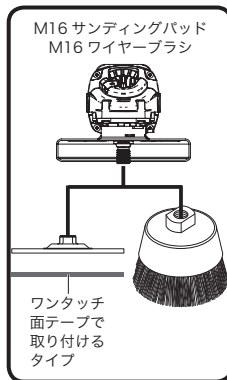
取り外し

取り外しの際は、取り付けの逆の手順で行ってください。

◆M16カップ型ワイヤブラシ・M16サンディングディスクパッド（ワンタッチ面テープ付）（市販品）の取り付け・取り外し

用途：鉄材などの表面仕上げ、塗装はがしに。

警告 ・M16カップ型ワイヤブラシM16サンディングディスクパッド（ワンタッチ面テープ付）は、市販品をご利用ください。
・取り付けの際は、市販品の取扱説明書の指示に従ってください。



取り付け

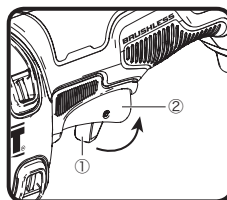
- (1) インナーフランジ、アジャスタブルロックナットを取り外し、スピンドルに直接カップ型ワイヤブラシをねじ込みます。
- (2) スピンドルロックボタンを押してスピンドルを固定し、お手持ちのスパナでカップ型ワイヤブラシを十分に締付けます。

取り外し

取り外しの際は、取り付けの逆の手順で行ってください

◆スイッチレバーの操作方法

警告 リチウムイオン電池を取り付ける際は、スイッチレバーに触れないよう注意してください。



ロックオフレバーを→の方向に倒した状態でトリガースイッチを引き込むと始動します。トリガースイッチから指を離すと停止します。

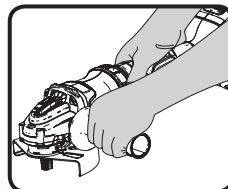
◆ソフトブレーキ機能・安全ストップ機能

本製品にはソフトブレーキ機能が搭載されています。スイッチ停止後、およそ3秒でブレーキがかかり回転が停止されます。

作業中にキックバックなど、強い反動が起こった際は、自動的にスイッチが停止する、安全ストップ機能も搭載されています。

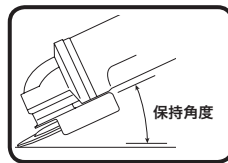
◆研削作業のヒント

警告 ・ご使用の際は、必ず安全保護具を着用してください。
・使用後はスイッチを切って、ディスク（先端工具）の回転が完全に止まってから機械を置いてください。回転が止まらないうちに置くことは危険です。また、切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがありますので注意してください



サイドハンドルを片手でしっかりと握り、もう一方の手で本体を持ちます。

ホイールカバーでカバーされていないディスクの部分が体から離れた場所にあるようにホイールカバー位置を設定してください。



ディスクが金属に接すると火花が散りますのでご注意ください。研削作業中にディスクと作業面の角度を常に正しく保ってください。

これによってディスクの研削能力を最大に発揮し、ツールに不必要な負担をかけることを防ぎます。

使用する研削工具に合わせて最適な角度で保持してください。

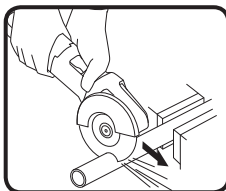
研削工具タイプ	推奨保持角度
グラインディング	15-30°
サンディング	5-10°
ワイヤブラシ	5-10°

◆切断作業のヒント



警告

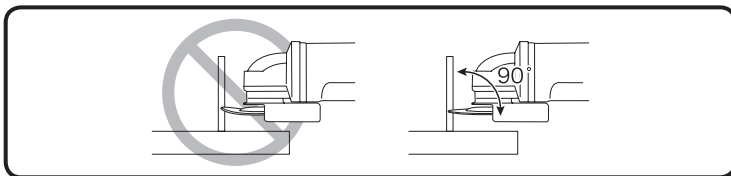
- ・切断作業中に先端工具をかみ込ませたり、過剰な力で押しつけたりしないでください。モータに無理がかかるばかりでなくキックバックや砥石の破壊による事故やけがの原因になります。
- ・使用後はスイッチを切って、先端工具の回転が完全に止まってから機械を置いてください。回転が止まらないうちに置くことは危険です。また、切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがありますので注意してください。
- ・切断砥石用ホイールカバー（別売品）を必ず使用ください。



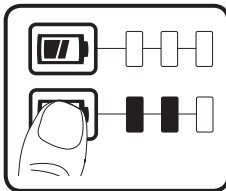
先端工具が加工材に触れない位置でスイッチを入れてください。

回転が十分に上がって、安定したことが確認できたら、加工材に先端工具をゆっくり押し当て切断を行ってください。切り終わるまでこの状態を保ってください。

切断する部材に垂直（90°）に荷重を加えて作業を行ってください。それ以外で行った場合、砥石が変形し破損の原因となります。



◆バッテリー残量ゲージ



リチウムイオン充電電池にはバッテリー残量ゲージが付いています。バッテリーマークのボタンを押すことにより、バッテリー残量を3段階に表示します。

△バッテリーの残量表示は電池の温度など、環境によって変化します。電池残量の目安としてご利用ください。

メンテナンス

製品の掃除には、から拭き、水またはぬるま湯でうすめた中性洗剤を湿らせた布で表面を拭いてください。テレピン油、ペイント用シンナー等の薬品は使用しないでください。製品内部に液体の入らないように、また製品本体を液体に浸けないように十分注意してください。



注意

本機のメンテナンスをする際は、必ず充電電池を抜いて行ってください。

アフターサービスについて

本機の修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターにて有資格者が純正部品を使用して行わなければなりません。かならずお買い上げの販売店または当社認定サービスセンターまでご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行ないますと、事故やケガの恐れがあります。

♻️ 充電電池と環境



Li-ion

リチウムイオン電池はリサイクルへ

デウォルト製コードレス電動工具に使用している充電電池はリサイクル可能な貴重な資源です。充電電池や製品の廃棄の際には、下記の手順に従いリサイクルにご協力ください。

- (1) 充電電池の寿命がなくなるまで使いきってから充電電池を交換してください（充電電池には寿命があります）。
- (2) お買い求めの販売店または所定のサービスセンターにお持ちください。

アクセサリ

本製品用の付属品は各販売店もしくは所定のサービスセンターにて販売しております。また付属品やアタッチメントについてのお問い合わせは、販売店または所定のサービスセンター、もしくはホームページの「お問い合わせ」までご連絡ください。（供給していない付属品もございます。あらかじめご了承ください。）

△当社の認定しない付属品やアタッチメントのご使用は、事故やケガの原因になる恐れがあります。ご使用にならないでください。

製品保証書

<保証規定>

保証期間：お買い上げ日より3年間／充電機、充電器については1年

1) 取扱説明書や製品ラベルに記載されている注意書きに従った使用状況で、本製品が故障した場合には、無償修理をいたします。

無償修理をご依頼になる場合は、以下のものを、お買い上げの販売店、またはデフォルトまでご持参、ご送付ください。

その際の諸費用は、お客様の負担となります。

- ・製品
- ・必要事項を記入した本書
- ・レシート（領収書）またはそのコピー

2) デフォルト認定サービスセンターが保証対象の認定を行います。

3) 次の場合は、本保証書規定の対象外となり、有料の修理または交換となります。

- ◆本書、お買い上げの日付を証明するレシート（領収書）またはそのコピーがない場合
- ◆オークションや、中古品で購入された場合
- ◆移動、落下、水没など製造上の問題以外による故障および損傷
- ◆使用上の誤りや注意書きを無視した使用による故障および損傷
- ◆不当な修理や改造による故障および損傷
- ◆火災・地震などの天災、騒乱などの人災、公害や異常電圧などの環境による故障および損傷
- ◆海外など、ご利用電源が100V（50 / 60Hz）でない環境でのご使用による故障および損傷
- ◆保証期間経過後のご依頼
- ◆温度、湿度など適正な環境以外でのご使用による故障および損傷
- ◆過負荷をかけた場合、または不具合が発生しているながら継続ご使用による故障および損傷

- ◆製品上に刻印されているデータコードが認識できない場合
 - ◆セット品のうち一部の製品においてセット内の他製品とデータコードが一致しない場合
 - ◆製品を貸与とされてのご使用による故障および損傷
 - ◆高い頻度のご使用で、定期的なメンテナンスやサービスがない場合の故障および損傷
- 4) 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 5) 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 6) 本規定は、以上の保証規定により修理・交換をお約束するためのもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 7) 本規定は予告なく変更されることがあります。
- ※ ビット、ノコ刃、サンドペーパー、掃除機フィルター、チェーン刃等の消耗品は保証の対象外です。

<アフターサービスについて>

アフターサービスに関する事項は、「アフターサービスについて」をご参照ください。

保証期間経過後の修理等については、デフォルトまでお問合せください。

<個人情報のお取り扱いについて>

弊社は、お客様よりお知らせいただいたお客様の住所、氏名、電話番号などの個人を識別、もしくは特定することのできる固有の情報（以下「個人情報」）を、本サービス提供目的のため、弊社ならびに弊社指定の宅配業者に提供します。お客様は、あらかじめこれに同意するものとします。また個人情報は、新製品情報、イベントのご案内、弊社製品サービスの品質向上のためにも利用させていただきます。



デウォルト 製品保証書

本書は、裏面に記載された保証規定により無償で修理・交換をお約束するものです。詳細は裏面の保証規定をご参照ください。

お客様記入欄	
フリガナ	製品名
お名前	54V 125mm ブラシレスグラインダ
TEL ()	型番
(〒)	DCG414X1 DCG414N (本体のみ)
都道府県	お買い上げ日
ご住所	西暦 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 年 <input type="text"/> <input type="text"/> 月 <input type="text"/> <input type="text"/> 日

ポップリベット・ファスナー株式会社 デウォルト事業部

〒171-0022 東京都豊島区南池袋 1-11-22 山種池袋ビル 4F

TEL : 03 (5979) 5777 FAX : 03 (5979) 5788